

# 2025年度 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム 活動報告

2026年5月20日  
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム事務局

## ◎ 報告内容

- ① **取組全体概要**
  - 普及促進活動
  - マッチング支援
  - 分科会
- ② **会員数推移**
- ③ **実績まとめ**

## ◎ 報告内容

### ① 取組全体概要

- ー普及促進活動
- ーマッチング支援
- ー分科会

### ② 会員数推移

### ③ 実績まとめ

政策ビジョン

SDGsの達成・地域課題の解決に向けた  
官民連携取組事例の創出によって、持続可能なまちづくりを実現

2025年度  
取組方針

非アクティブ会員を呼び戻し、スケールメリットを生かした  
「地方創生SDGs」ムーブメントのさらなる活性化

組織基盤整備

➤ 圧倒的な会員数を基盤とした、他省庁・業界団体等との連携強化

1

普及・展開

① 効果的・効率的な情報発信

➤ 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

② 新規イベント・施策の検討実施

➤ 非アクティブ会員の活性化を目的とした新規イベント・施策の検討・実施  
(PF上における会員の実績の明示化等)

2

マッチング  
支援

① 対面型マッチングイベント開催

➤ マッチングで終わらずその後の事業化に繋がるイベントを実施  
(事業分野の限定、スタートアップ企業との連携等)

② 官民連携講座の実施

➤ 主に民間団体をターゲットとし、テーマを明確にしたセミナーを実施  
(マッチングイベントと連動したワークショップ形式のセミナー等)

③ 伴走支援窓口の活性化

➤ マッチングイベントやセミナーとの連動等により伴走支援窓口の知名度向上を実施

④ マッチングシステム機能向上

➤ 上記取組を下支えするシステム機能の維持・向上を実施

3

分科会

① 活動支援

➤ 分科会活動の活性化支援の継続実施

② 活動のPR

➤ 分科会の活動内容の「見える化」  
(メルマガでのコラム発信、活動報告会の実施等)

## ◎ 報告内容

- ① 取組全体概要
  - 普及促進活動
  - マッチング支援
  - 分科会
- ② 会員数推移
- ③ 実績まとめ

# 全国SDGsプラットフォーム連絡協議会

- SDGsの達成を目的とした全国の官民連携プラットフォーム間の情報共有、活動連携を通じて、SDGsの普及と地域課題の解決を図り、地域の活性化と、持続可能なまちづくりを促進する「**全国SDGsプラットフォーム連絡協議会**」を2021年に発足。
- 大阪・関西万博を起爆剤とした地方創生SDGsの普及推進を企図し、2022年に「**2025年日本国際博覧会協会**」と連携協定を締結。
- 2025年度は**9月に連絡協議会（書面）を開催**し、内閣府が大阪・関西万博で実施した展示会の実施状況報告や、官民MEET等イベントを中心に、各団体の情報共有を実施。

## ■現在の会員構成（2026年1月末時点）

	地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム	関西SDGs プラットフォーム	九州SDGs 経営推進フォーラム	北九州SDGsクラブ
運営事務局	内閣府地方創生推進事務局	JICA関西 関西広域連合 近畿経済産業局	九州経済産業局	北九州市
会員数	<b>8,244</b> 会員	<b>3,523</b> 会員	<b>1,079</b> 会員	<b>2,387</b> 会員
連絡協議会 役員	<b>会長</b> 武内 和久 (北九州市長)	<b>副会長</b> 井上 剛志 (公益社団法人 関西経済連合会 理事)	井上 滋樹 (九州大学大学院芸術工学研究院 教授)	—

## ■目的と活動内容

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国で活動するSDGs官民連携プラットフォームの活動連携等により、SDGsの達成と地域課題の解決を図ることで、地域の活性化を実現し、持続可能なまちづくりを促進</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各プラットフォームの活動状況の共有</li> <li>・ 各プラットフォームのイベントや情報の相互共有、広報連携</li> </ul>

# 1. 普及・展開

## ① 効果的・効率的な情報発信

- ▶ 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

## 新規会員の獲得／イベント参加

- ▶ 既存イベント（外部主催）へ参加し、自治体、企業・民間団体等の双方に対して情報発信
- ▶ 官民連携に向けて本プラットフォームを知って、活用してもらうため、**イベント会場内にチラシの設置を協力**いただいたほか、**職員が実際に現地へ行き広報活動を実施**
  - 7月2～4日：自治体・公共Week2025（主催：RX Japan株式会社 / 会場：東京ビッグサイト）
  - 7月16～18日：自治体総合フェア2025（主催：一般社団法人 日本経営協会 / 会場：東京ビッグサイト）
  - 9月5日：OSAKA JAPAN SDGs Forum（主催：大阪府 / 会場：大阪・関西万博内EXPOホール「シャインハット」）
  - 12月10～12日：エコプロ2025（主催：日本経済新聞社 ほか / 会場：東京ビッグサイト） 等
- ▶ 本プラットフォームの“気軽さ”や“使いやすさ”をアピールし、興味を持ってもらうことで会員登録や利用を促進
- ▶ 関係団体などを通じたイベント（官民MEET）告知により、これまでリーチできなかった業界団体などにも広報
- ▶ 関係省庁やその関係機関への営業活動（機能改善、周知、広報協力等）を実施、営業活動で講演やセミナーなどの機会を得て、さらに情報発信を実施  
ex. 経済産業省（インパクトコンソーシアム官民連携促進分科会）や民間主催のセミナーへの登壇 等

<新チラシ>



イベントでの広報活動をきっかけに新規会員登録が増加

次年度も継続して広報活動を実施することで、引き続き会員増加を図る

# 1. 普及・展開

## ① 効果的・効率的な情報発信

- 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

## 会員への効果的な情報発信

- 自治体に対して官民連携の事例をヒアリングし、プラットフォーム上へ掲載
- 官民連携を推進している自治体へインタビューし、その取組を発信
- 実際に自治体の職員から声を聴くことで、官民連携の取組に対しての**思いや現場の声**を伝える
- 事例としても参考になる内容であることから、**会員の情報収集の幅を広げ**、プラットフォームの活用促進を目指す

## 自治体インタビュー



今年度の新規掲載事例数  
(R8.2.28時点)

20件

※PF以外での連携事例含む

自治体インタビューのほか、官民連携の新たな事例の掲載など、有益な情報を提供するための施策を実施

# 1. 普及・展開

## ①効果的・効率的な情報発信

- 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

## マスメディア連携／イベント出展

- 官民MEET宮城の開催にあたり、東北圏での情報発信の強化や官民連携の機運醸成とするべく、宮城県ローカル局（東日本放送-khb）と連携した**情報発信**を実施
- **テレビCM**を放映したほか、khbの番組内で地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて紹介
- さらにkhb主催イベントへの出展による**情報発信**を実施
- これまであまりリーチできていなかった東北圏の自治体や企業・民間団体等、さらに一般の方向けに幅広く情報発信

### <CMや放送内容はアーカイブとしてHPにも掲載>

CM・映像アーカイブ



The image shows three video thumbnails. The first is an interview with a man in a suit and a woman in a white t-shirt. The second is a woman in a white t-shirt holding a microphone. The third is a graphic with the text 'MEET: 11.17 13:00-15:30 仙台市中心企業活性化センター 2025年開催' and icons for '子育て' (Child-rearing), '地域活用' (Local utilization), and '健康・福祉' (Health and welfare).

映像アーカイブ  
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム  
(2025.9.270A あすとつながるテレビ)

CM  
【内閣府】2025地方創生SDGs官民連携プラットフォーム  
30秒CM

CM  
官民MEET宮城【15秒CM】

### <イベント出展>



プラットフォームの認知や官民連携の機運醸成、新規会員獲得のためのひとつとして効果を発揮

東日本放送との連携をモデルに、他の圏域でもマスメディア等と連携した情報発信を検討

# 1. 普及・展開

## ① 効果的・効率的な情報発信

▶ 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

桃太郎電鉄とのコラボにより話題沸騰 ソーシャルなテーマを親しみやすく「楽しく、遊んで、学ぶ」体験型情報発信企画

# 地方創生SDGsフェス in 大阪・関西万博

実施主体：内閣府地方創生推進室 開催場所：大阪・関西万博 EXPOメッセ「WASSE」 開催日程：令和7年5月28日(水)～6月1日(日) (5日間)



## ▶ 地方創生SDGsフェスとは？

各地域で展開されている地方自治体によるSDGsを原動力とした地方創生の取組(=地方創生SDGs)を  
来場者の方が「楽しく、遊びながら」地域の取組に触れることができる“政策体験型イベント”として実施した。

### 自治体出展型イベント

審査を経て選抜された全国各地  
“地域の誇る特色を体感できる”  
魅力的なコンテンツを展開

### 地方創生の“取組”を発信

“新しい形で地方・地域を発信”  
物産展でも移住フェアでもない  
“各地が誇る多彩な取組”を発信

### 「楽しく、遊んで、学ぶ」

“楽しく、遊んで、学んで”体感  
・自治体展示は体験・体感  
・桃太郎電鉄との特別コラボ

## ▶ 取組実施による結果報告

「楽しく、遊んで、学ぶ」というコンセプトによる**体験要素を交えた取組み発信**に**高い反響**があり、  
来場者のみならず、**多数のメディアによる取材・媒体掲載、来場者のSNS発信**で広く情報が拡散。  
これまでの発信手法に比べて圧倒的な露出規模となり、“**地方創生SDGsの取組み**”の**認知が拡大**した。

- 来場者数 -

41,450人

5日間延べ(来場記念切符配布枚数)

- メディア掲載媒体 -

250媒体以上

在阪キ一局系列全社・NHK等テレビ放映多数

- SNS (X) 投稿数 -

5300 ツイート超

推定1億超 インプレッション

## ▶ 本イベント出展・参加自治体

北海道	上士幌町 東川町 (虻川郡大崎町) 旭川市	長野県	長野市	愛媛県	四国中央市
宮城県	仙台市	岐阜県	岐阜市	高知県	高知県 土佐町 (高知県本山町) (高知県大寺町) (高知県大川村)
山形県	長井市	静岡県	島田市		
茨城県	大子町	京都府	宮津市	福岡県	八女市
栃木県	宇都宮市 (栃木県芳賀町)	大阪府	福知山市	長崎県	宗像市
埼玉県	鴻巣市	大阪府	羽曳野市	熊本県	東彼杵町
東京都	三宅村	兵庫県	藤井寺市	大分県	南小国町
神奈川県	神奈川県 相模原市 (北海道大野町) (秋田県能代市) (岩手県大船渡市) (宮城県角田市) (長野県佐久市) (鹿児島県肝付町)		三木市	大分県	大分市 (愛媛県八幡浜市)
		島根県	江津市	鹿児島県	出水市
		岡山県	松江市	沖縄県	伊佐市
			真庭市		国頭村
			西粟倉村		
			井原市 (東京都神津村) (福井県大野市)		
		広島県	福山市		
		山口県	岩国市		

※カッコ内は共同出展自治体



# 1. 普及・展開

## ① 効果的・効率的な情報発信

▶ 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

桃太郎電鉄とのコラボにより話題沸騰 ソーシャルなテーマを親しみやすく「楽しく、遊んで、学ぶ」体験型情報発信企画

## 地方創生SDGsフェス in 大阪・関西万博

実施主体：内閣府地方創生推進室 開催場所：大阪・関西万博 EXPOメッセ「WASSE」 開催日程：令和7年5月28日(水)～6月1日(日) (5日間)



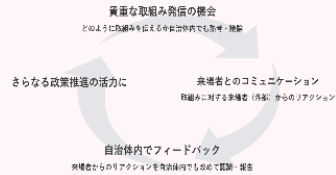
### ▶ 自治体アンケートによる政策展開に対する効果

自治体にとって来場者から直接アクションを貰える「政策・取組み発信の機会」は貴重であり、来場者からの反応が新たな気づきやモチベーションとなり「政策推進」にも好影響をもたらす結果となった。

－【質問】地方創生SDGsフェスが貴自治体の政策推進に寄与すると思うか－



地方創生SDGsの「取組み」に対する  
来場者のリアクションが得られることで  
自治体の「政策推進にも効果」を発揮



### 今後の展開について

地方創生SDGsによる各自治体の取組みは、これまで関係者に向けた発信にとどまっていたところ、万博という国内外へ広く発信ができる機会を活用し、一般の方へ発信するという新たな試みを行った。

この取組みによる、反響は来場者、自治体からも非常に高いものとなり、今後以下を検討していく。

- ・来年度以降における「地方創生SDGsフェス」の継続実施に関する検討を推進する。
- ・メディア連携等により住民目線での「地方創生SDGs」の発信コンテンツの企画・拡充を行う。
- ・民間企業等との官民連携による「地方創生SDGs」の情報発信機会の創出・強化する。

### ▶ 当日の様子



メディア限定公開セレモニー



会場内エントランス



取組みを発信する自治体ブース



様々なコンテンツによるステージ企画

# 1. 普及・展開

## ① 効果的・効率的な情報発信

▶ 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

地方創生SDGsを楽しく発信！ 笑って、感じて、未来を描く、大阪・関西万博から世界へ、地域の輝きを発信

## 地方創生SDGs Live STAGE!! in 大阪・関西万博

実施主体：内閣府地方創生推進室 開催場所：大阪・関西万博 EXPOホール「シャインハット」 開催日程：令和7年8月21日(木)

### ▶ 地方創生Live STAGEとは？



地方創生SDGsをより幅広い層に発信をしていくため、パフォーマンス・お笑い・テレビ番組との掛け合わせ、多面的な角度から地方創生SDGsの情報発信を実施。自治体職員・有識者等にも登壇頂き、クイズ等も交えた来場者参加型で地方創生SDGsの「取組み」を発信した。

- 来場者数 -

**4,400人**

自由入退場式 3ステージ合計  
※関係者席を除く (提供座席数: 4,718席)

- 来場者満足度 -

**90%**

※とても満足・満足と回答

### ▶ 来場者アンケート結果(感想)

地方創生SDGsという言葉に馴染みのない方に対して、お笑いや番組といったコンテンツに馴染むかたちで、地方自治体での取り組みを組み込むことで、より身近に地方創生SDGsを学び考えて貰う場を創出した。

#### ■ 学びの視点

色んな地域の取組みを芸人さんを通じて楽しく知り学ぶことができてよかった。テレビ放映もしてほしい。

学びのきっかけとしての工夫が良かった。奄美や朝日の取組みなど学ぶところが多かった。

高校生が書道でどう地方創生SDGsについて伝え、表現するか、とても考えていて大変感動した。

#### ■ 行動変容の視点

奄美での撮影を通して、SDGsに興味を持ち社会科の自由研究に取り組んでいます。はじめて「内閣府地方創生推進室」や「未来都市」という言葉を知りました。

型にはまってSDGsを考えるのではなく、様々なアプローチがあるのだと気付かされました。

地方創生やSDGsについて学びが深まった。自分だけでも行動してみようという気持ちを持った。



ステージイベント開演前の会場の様子



地域社会と私たちの未来をテーマに高校生が考える地方創生へのメッセージを発信



笑いから地域課題を考えるエンタメから地方創生SDGsを学ぶ



人気番組とのコラボ SDGs未来都市をゲストと一緒に探ろう！

### 今後の展開について

- ・住民目線でのさらなる行動変容につながる発信施策の検討
- ・多角的な視点による地方創生SDGsの認知拡大および、各地方自治体による地方創生SDGsの取り組み発信機会の拡大・創出

# 1. 普及・展開

## ① 効果的・効率的な情報発信

➢ 会員数の増加に向けた効果的・効率的な情報発信の検討・実施  
(マスメディアとの連携、既存のイベントへの出展、大阪・関西万博への出展等)

- 企業と連携し、**企業の持つノウハウやネットワークを活用**して地方創生SDGsの情報発信を実施
- 地方創生SDGsならびに全国各地の自治体による取組を効果的に発信するため、**来場者が楽しみながら**地方創生SDGsに触れることができるイベント
- 万博に引き続き**桃太郎電鉄とコラボ**した、参加型謎解き企画「**日本横断！地方創生SDGsなぞとき大旅行**」をメインコンテンツとした企画
- **交通広告やコミュニティメディア**を活用し、「**ストーリー設計型**」の情報発信により、多くの人に幅広く訴求

## 地方創生SDGs未来につなぐ“スゴい”まちづくり大発見

実施主体：内閣府地方創生推進室

開催場所：二子玉川 蔦屋家電（二子玉川ライズ S.C. テラスマーケット）

開催日程：令和8年3月7日（土）～8日（日）（2日間）



万博に引き続き、  
桃太郎電鉄とコラボ！

イベント満足度  
(大変満足・満足)

約 **95%**

取組みの理解度  
(とても深まった・深まった)

約 **94%**

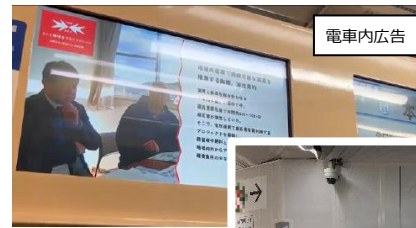
## CHAKKA ヒトと地域をつなぐアクション

実施主体：小田急エージェンシー-CHAKKAプロジェクト

開催場所：小田急線 海老名駅改札内、ロマンスカーミュージアム

開催日程：2月21日（土）～22日（日）（2日間）

※ウェブコンテンツの発信…令和8年1月23日（金）～4週間程度



地域の取組を知る・体験する機会が多いほど  
地域への応援意向が高まり、態度変容に繋がる



企業協力型の情報発信により、行政だけではリーチできない層など、

より多くの人へ地方創生SDGsの取組を届けることに効果

# 1. 普及・展開

## ②新規イベント・施策の検討実施

➤ 非アクティブ会員の活性化を目的とした新規イベント・施策の検討・実施（PF上における会員の実績の明示化等）

### キャンペーン企画「官民連携 冬のマッチング強化祭」

- 官民連携プラットフォームの活用促進を目的としたキャンペーン
- 通常よりも積極的に課題登録・ソリューション提案が行われる環境を事務局が強化
- より良いマッチング（出会い）が生まれるよう支援を拡充
- 3つのマッチング強化テーマを設定し、重点的に促進

登録課題数

100件

提案数

220件

意見交換希望数

35件

伴走支援事業者のサポート実施

30件



これまで課題登録をしていなかった非アクティブの状態や活用の進まなかった自治体会員が多数参加  
登録課題数も通常時より増加

## ◎ 報告内容

- ① 取組全体概要
  - ー普及促進活動
  - ーマッチング支援
  - ー分科会
- ② 会員数推移
- ③ 実績まとめ

## 2. マッチング支援

### ① 対面型マッチングイベント開催

➤ マッチングで終わらずその後の事業化に繋がるイベントを実施  
(事業分野の限定、スタートアップ企業との連携等)

- 自治体がブース出展、「お困りごと」としてあらかじめ課題を登録・公表、民間事業者は事前に課題を確認の上、各ブースを回る
- 平均コミュニケーション数が高く、自治体、企業・民間団体等とともに今後もコミュニケーションを続けたいと思う相手と出会うことができる満足度の高いイベントに

### 官民MEET

## 大阪

(過去最大規模)

■ブース設置自治体

40自治体 50ブース  
(視察のみ自治体含め50自治体参加)

■参加企業

165社

■来場者数

446人

■交流数

平均  
23.2社/自治体

### 官民MEET

## 宮城

(マスメディア連携)

■ブース設置自治体

23自治体 27ブース  
(視察のみ自治体含め24自治体参加)

■参加企業

100社

■来場者数

237人

■交流数

平均  
17.4社/自治体

### 官民MEET

## 福岡

(関連セミナー実施)

■ブース設置自治体

35自治体 40ブース

■参加企業

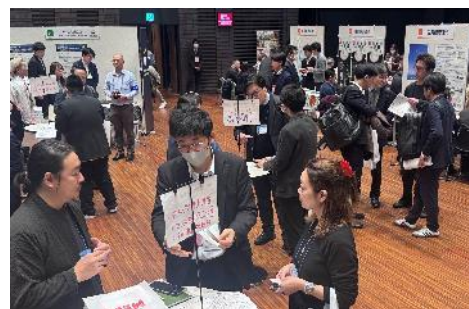
136社

■来場者数

315人

■交流数

平均  
20.1社/自治体



「今後もコミュニケーションを続けたいと  
思う相手に出会うことができたか」

全体で約 **80%**

## 2. マッチング支援

### ②官民連携講座の実施

- 主に民間団体をターゲットとし、テーマを明確にしたセミナーを実施（マッチングイベントと連動したワークショップ形式のセミナー等）

### 第1回セミナー「地方創生SDGs官民連携プラットフォームとは」

- 自治体職員・民間事業者を対象、**新任の担当者／新規会員向け**の内容
  - 第1部「地方創生SDGs官民連携プラットフォームとは」➔プラットフォームの概要・活動・機能について紹介
  - 第2部「課題解決へ向けた第一歩！「プラットフォームを活用してみよう」➔プラットフォームの活用や使い方について紹介
- 初の試みとして3日間、各日3回の配信（録画）として実施

8/8,14,20  
録画配信

### 第2回セミナー「“連携したい”を“連携できた”に変える！-つまずきポイントとその乗り越え方-」

- 自治体職員・民間事業者を対象、具体的に官民連携に向けて動き出したいと考えている人向け  
“連携したい”を“連携できた”に変える！-つまずきポイントとその乗り越え方-
  - ➔官民連携における注意点などを事例を交えて紹介
- 地方創生テクノロジーラボ（伴走支援事業者）の新井氏が登壇

10/29  
オンライン

### 第3回セミナー「地域の「困った」を深掘り！分析力向上セミナー」

- 自治体職員を対象に、提案の質を高め、共創を加速させる「課題設定力」を磨くワークショップを実施
- オンライン開催に加え、官民MEET福岡と連携し、福岡市でリアル開催も実施
- 官民連携事業研究所（伴走支援事業者）の晝田氏が登壇

1/22 オンライン  
2/5 リアル

いずれのセミナーも満足度**85%**超

## 2. マッチング支援

### ③ 伴走支援窓口の活性化

➤ マッチングイベントやセミナーとの連動等により伴走支援窓口の知名度向上を実施

### イベント・セミナーへの協力

#### ➤ 官民MEETにおける伴走支援窓口としてのブース出展

3社とも大阪・宮城・福岡のすべてに出展



#### ➤ 官民連携講座への登壇

官民連携の具体例も交えた内容でセミナーへ登壇



#### ➤ 官民MEET・関連ワークショップへの企画協力

官民MEET内のコーナー企画や関連するワークショップを運営



#### ➤ キャンペーン企画への協力

告知や課題整理などキャンペーン企画の実施に協力



## 2. マッチング支援

### ④ マッチングシステム機能向上

➤ 上記取組を下支えするシステム機能の維持・向上を実施

### アカウント拡大

- **組織の運用方法に応じて柔軟に登録することができるよう、会員登録の見直しを実施**
- **アカウント拡大**として、これまで団体単位だった入会申請を**団体の支店や部署単位でも申請可能**とするための改善
- 併せて、会員登録の申請時に必要としていた**誓約書の提出及び押印を不要**とし、登録しやすくなるよう改善

※特に、組織の大きな企業・民間団体等の支店・部署レベルや自治体の担当課レベルでの登録のハードルを下げる

項目	これまで	これから
登録単位	団体単位 (自治体・法人の組織につき1登録)	支店・部署単位での登録が可能
アカウント追加	登録済みアカウントから追加可能	
運用・管理	登録している団体ごと	登録した支店・部署ごと

#### これまで

1 団体 1 アカウントのみ

(登録団体)

#### モデル市

(申請者:代表アカウント)

企画課 田中 シンヤ

(メンバー追加)

企画課 鈴木 スミコ  
福祉課 山本 ハルカ  
福祉課 高橋 ジュン

ひとつのアカウントに  
異なる部署や支店のメンバーが  
混在している!!!

#### これから

1 団体で複数アカウント保持可能に

(登録団体)

#### モデル市 企画課

(申請者:代表アカウント)

企画課 田中 シンヤ

(メンバー追加)

企画課 鈴木 スミコ

(登録団体)

#### モデル市 福祉課

(申請者:代表アカウント)

福祉課 山本 ハルカ

(メンバー追加)

福祉課 高橋 ジュン

【以下のような課題を解消できます】

- ・代表アカウントで違う部署の人のアカウントの管理・登録までしなければいけない・・・
- ・関係がない部署の人にも通知がいつってしまう・・・関係ない通知がたくさん来る・・・

## 2. マッチング支援

### ④ マッチングシステム機能向上

➤ 上記取組を下支えするシステム機能の維持・向上を実施

### 共通課題を結ぶ“ウチも！”ボタンの新設

- すでに登録されている課題に対して、「ウチも！」と手を挙げることで、企業からの提案相乗りが可能に
  - ➡ 小規模や人的リソースの割けない自治体でも利用しやすく
  - ➡ スタートアップ等のこれから事業を広げたい事業者が一括で提案できる利便性の確保

#### 自治体の画面

課題: No.2600024  
行政DXに関する取組み  
〇〇県□□市  
更新: 2026/01/15 14:47  
掲載終了: 2026/03/31

👋 **ウチも!**  
または  
👋 **ウチも!**  
3 自治体

課題: No.2600024  
行政DXに関する取組み  
〇〇県□□市  
更新: 2026/01/15 14:47  
掲載終了: 2026/03/31

👋 **ウチも!**  
「ウチも！」と手を挙げる

自地域と同様の課題が掲載されていれば**“ウチも！”**をクリックするだけで事業者からの**提案に相乗り可能!** 忙しくて課題登録まで手が回らなくても、提案を受けられる

#### 民間事業者の画面

課題: No.2600024  
行政DXに関する取組み  
〇〇県□□市  
更新: 2026/01/15 14:47  
掲載終了: 2026/03/31

👋 **ウチも!**  
3 自治体  
「ウチも！」と手を挙げた自治体を見る

**“ウチも！”の数だけ自治体  
同じ課題を抱えている!**

この課題に「ウチも！」と手を挙げている団体一覧

〇〇県AA村   〇〇県●●市   〇〇県▼▼町

課題に「ウチも！」と手を挙げている自治体がある場合、提案事業者は当該課題登録自治体及び「ウチも！」と手を挙げている自治体を任意に選択して、提案を行うことが可能です。

**提案する**

1号会員(自治体)2号会員(官公庁)の皆さまには、提案内容の外部情報漏洩に関して下記ガイドラインをご確認いただいておりますので、安心してご提案ください。  
[スタートアップ等から公共調達を行う場合の知的財産の保護及び調達の工夫に関するガイドライン](#)

**手を挙げた自治体に同時提案が可能!** 需要の広がりがあり、提案の促進に  
※「スタートアップ等から公共調達を行う場合の知的財産の保護及び調達の工夫に関するガイドライン」  
([https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital\\_gyozaikaikaku/startup0/guideline.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_gyozaikaikaku/startup0/guideline.pdf)) を参照する旨の  
注意喚起を図ることで提案内容の外部情報漏洩の防止にも努める

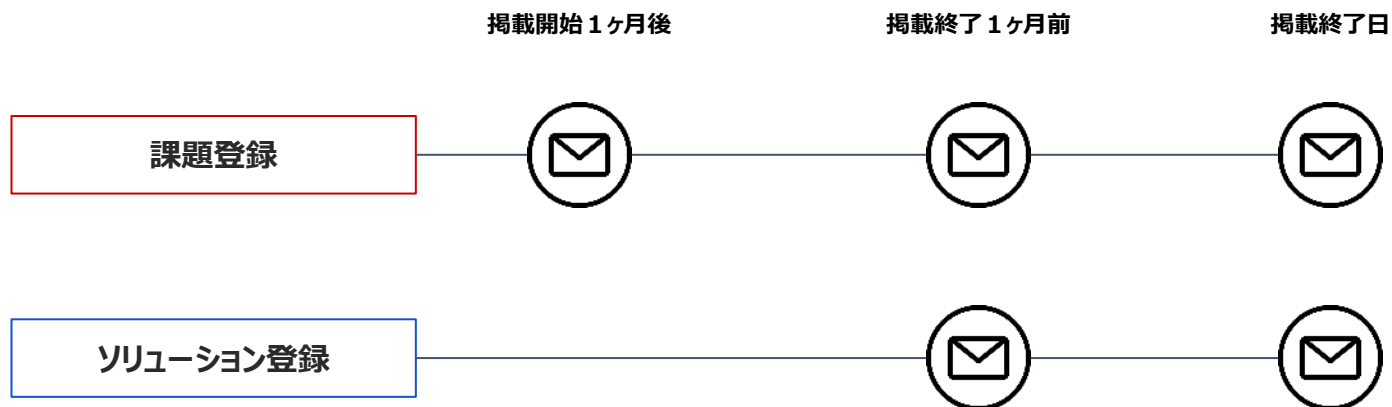
## 2. マッチング支援

### ④ マッチングシステム機能向上

➤ 上記取組を下支えするシステム機能の維持・向上を実施

### メール通知機能の拡充

- 掲載から一定期間経過した課題・ソリューションを登録した会員に対してのフォローアップをメールで通知
  - ➔ 伴走支援窓口での課題の整理や深掘りのサポートを案内
  - ➔ 掲載終了前にも通知し、継続して登録する際の案内など会員のフォローアップへ繋げる



伴走支援の利用や掲載期間延長の確認など、  
会員に対して通知してフォローアップ

## ◎ 報告内容

- ① 取組全体概要
  - ー普及促進活動
  - ーマッチング支援
  - ー分科会
- ② 会員数推移
- ③ 実績まとめ

# 3. 分科会

## ①活動支援

➤ 分科会活動の活性化支援の継続実施

## ②活動のPR

➤ 分科会の活動内容の「見える化」  
(メルマガでのコラム発信、活動報告会の実施等)

- 2025年度の分科会設置件数は21件（継続12件、新規9件）
- 各分科会の設置後、メルマガで会員向けに分科会参加募集の周知

区分	申請日	テーマ・タイトル	主催者
継続01	4月26日	環境経営・SDGs経営を駆使してわが町を元気に	一般社団法人日本経営士会
継続02	4月26日	持続可能な地域発展とAI技術研究会	一般社団法人社会デザイン協会
継続03	4月28日	防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム（防テクPF）分科会	内閣府
継続04	4月28日	SDGs産学官民事業創生・地方創生・教育創生連携ネットワーク	東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社
継続05	5月1日	中小企業・サプライチェーンにSDGs・CSR・環境経営の普及と宣言・登録・認証制度のパイロット運用	一般社団法人日本経営士会
継続06	5月1日	地方自治体およびその他(小規模・中小企業)にSDGs宣言・登録・認証制度などの取り組み・運用を伴走形でサポート	一般社団法人日本経営士会
継続07	5月8日	安全（製品安全・消費者安全）とSDGs	一般財団法人電気安全環境研究所
継続08	5月14日	削減と持続可能なリサイクル化について検討	翔飛工業株式会社
継続09	5月17日	SDGsスタートアップ研究分科会	一般社団法人PMI日本支部
継続10	5月27日	企業版ふるさと納税分科会	内閣府
継続12	6月3日	Future Lab.「誰一人取り残されない社会」実現のためのテクノロジー研究会	株式会社SDGsテック
継続13	7月30日	SDGsへの取り組みを強化・促進させる人的支援	一般社団法人目白心理総合研究所
新規01	4月24日	地域資源および再生可能エネルギーを活用した地方創生事業構築と新規事業創生・創出の推進	東京理科大学インバーストメント・マネジメント株式会社
新規02	5月2日	地域通貨/ポイント手数料無償化を目指す分科会	株式会社Great Value
新規04	6月4日	ゼブラ企業×官民連携分科会	株式会社官民連携事業研究所
新規05	6月13日	SDGsリフレクション&Beyond 2030共創分科会	一般社団法人サステナブルトランジション
新規06	6月24日	地方創生戦略 制度活用と地域課題解決	株式会社カルティブ
新規07	7月26日	自治体財政難に挑む！スタートアップ・官民共創分科会	特定非営利活動法人日本社会福祉事業協会
新規08	8月8日	地域産業創生インキュベーションビジネス分科会	株式会社ソフィアコミュニケーションズ
新規09	8月22日	SDGs&ESG&CSVビジネスモデルと人材育成	青山ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社
新規10	9月17日	離島×防災×官民連携	大和リース株式会社

# 2025年度取組 スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体				● 6/3 幹事会	● 7/23 総会		● 9月 全国SDGsプラットフォーム 連絡協議会総会（書面）		● 11/14 幹事会(書面)				● 3/18 幹事会 <b>本日</b>
	普及・展開	自治体インタビュー・事例の掲載 他団体主催のイベントへの出展や広報、営業 マスメディアタイアップによる情報発信（CM）											
マッチング支援	連携講座		● 5/25-6/1 大阪・関西万博 地方創生フェス			● 8/22 大阪・関西万博 地方創生Live STAGE!!		● 9/27~28 あすつなぐるりパーク 出展&O.A. (knb)				● 1/15~2/27 冬のマッチング強化祭	
	マッチングイベント					●●● 8/8,14,20 第1回官民連携講座		● 10/29 第2回官民連携講座			● 1/22 オンライン 2/5 リアル 第3回官民連携講座		
	機能改善	機能改善（うちも！/アカウント拡大 等）に向けた開発・検討										機能改善リリース メール通知機能の拡充	
分科会		分科会 設置提言					分科会活動						

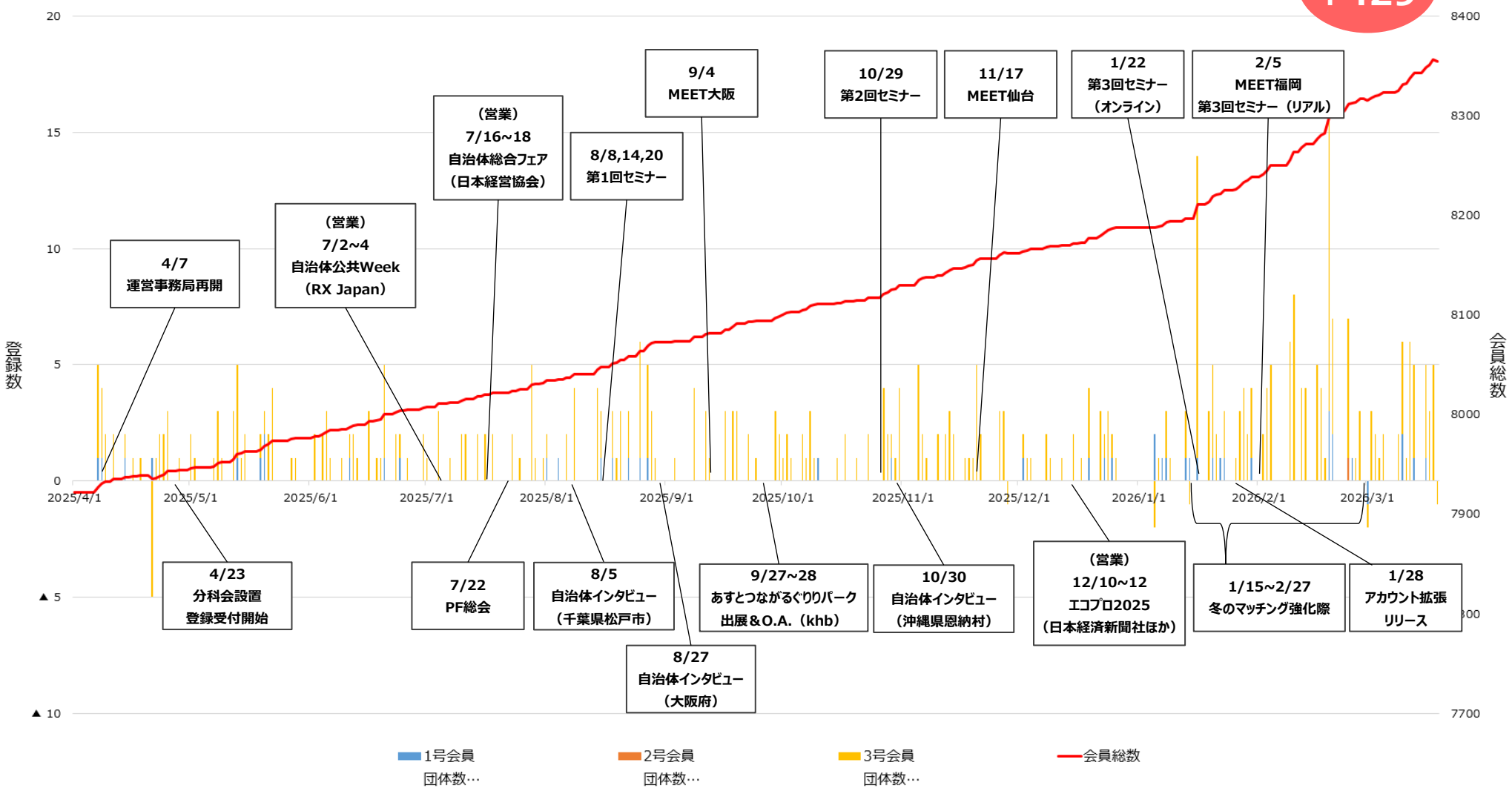
## ◎ 報告内容

- ① 取組全体概要
  - ー普及促進活動
  - ーマッチング支援
  - ー分科会
- ② **会員数推移**
- ③ 実績まとめ

# 2025年4月からの会員数の推移 (2026年3月19日時点)

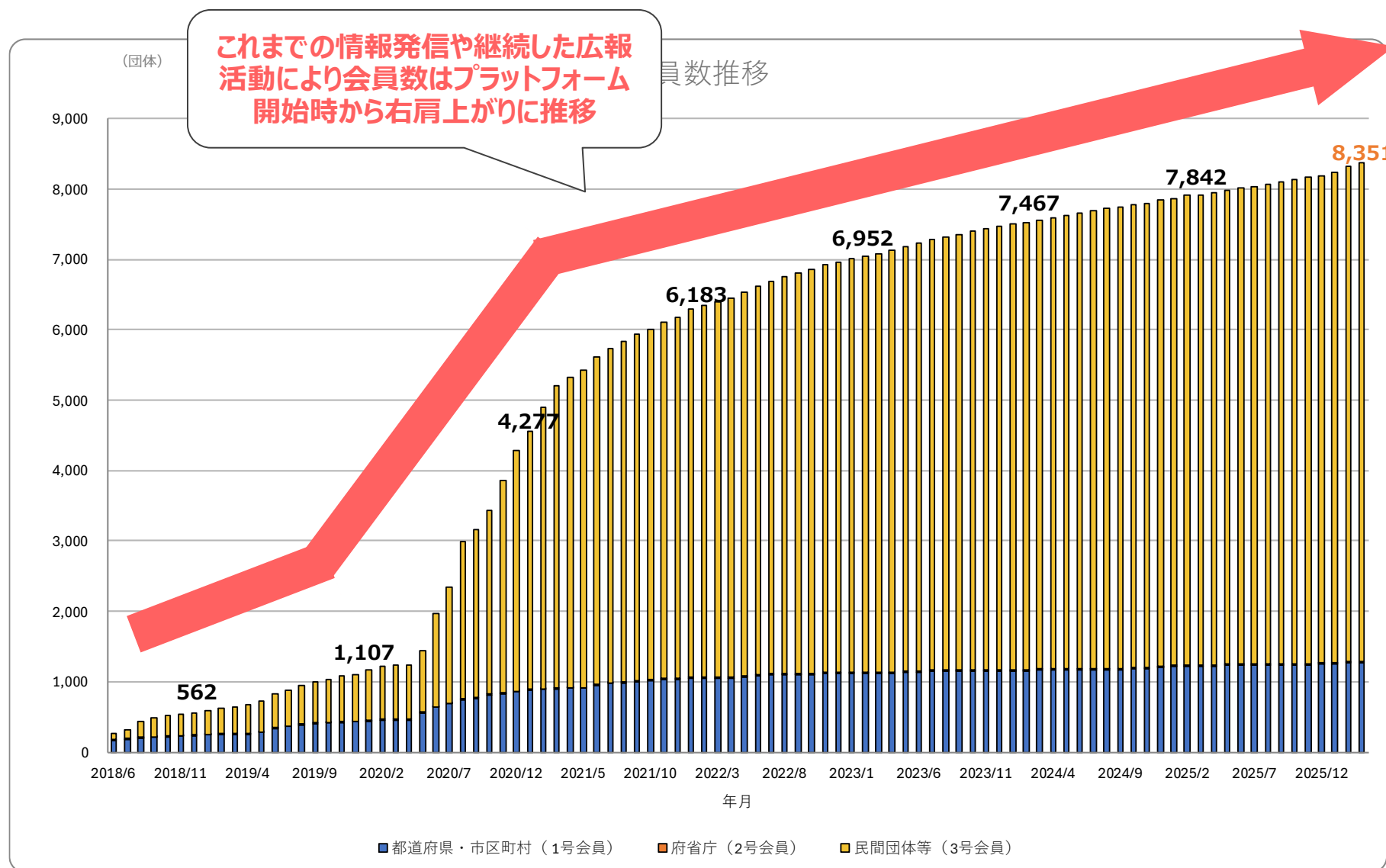
会員数  
**+429**

2025年度会員数推移



# 会員数月別推移

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会員数は**8,351団体**（2026年3月19日時点）



地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会員数は**8,351団体**（2026年3月19日時点）

※カッコ内は昨年同月比

## 地方公共団体（1号会員）：1,266団体

※「東三河広域連合」および部門別登録を含む

	会員数		加入率	全自治体数
北海道	109	(+4)	60.6%	180
東北	153	(+7)	65.7%	233
関東	241	(+7)	74.6%	323
北陸	65	(+1)	76.5%	85
中部	176	(±0)	73.3%	240
近畿	173	(+9)	73.9%	234
中国	81	(+2)	72.3%	112
四国	60	(+3)	60.6%	99
九州	180	(+8)	75.0%	240
沖縄	24	(±0)	57.1%	42
合計	1,262	(+41)	70.6%	1,788

## ○人口規模別（都道府県を除く）

人口	会員数		加入率	全自治体数
50万以上	32	(±0)	91.4%	35 (±0)
10万以上	215	(+5)	87.4%	246 (±0)
5万以上	215	(-2)	90.0%	239 (-9)
5千以上	627	(+29)	67.8%	925 (+3)
5千未満	126	(+9)	42.6%	296 (+6)
合計	1,215	(+41)	69.8%	1,741

※母数として特別区および市町村 1,741件 / 都道府県47件 / 合計の1号会員全体1,788件

## 関係省庁（2号会員）：18機関

※同一省庁の部門別登録を除く

内閣府	総務省	財務省	環境省
厚生労働省	外務省	農林水産省	国土交通省
文部科学省	経済産業省	消費者庁	金融庁
警察庁	内閣府地方創生推進事務局	国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所	
経済産業省九州経済産業局		経済産業省近畿経済産業局	
経済産業省四国経済産業局		農林水産省農村活性化推進室	

## 民間企業等（3号会員）：7,067団体

※下記の表では同一企業の部門別登録も1団体として集計

業種区分	会員数	業種区分	会員数
社団法人・財団法人	641 (+19)	製造業	840 (+36)
NPO・NGO	550 (+10)	卸売・小売業・飲食店	447 (+29)
大学・教育機関・研究機関・国機関等	161 (+3)	金融・保険業	287 (+5)
農業・林業・狩猟業・漁業	50 (+2)	不動産業	103 (+7)
宿泊・飲食サービス	12 (+3)	運輸・通信業	361 (+33)
鉱業	4 (±0)	サービス業	2,076 (+139)
建設業	308 (+15)	その他	1,176 (+95)
電気・ガス・水道・熱供給業	63 (+1)	合計	7,079 (+397)

※3号会員の業種については、各企業団体から申告のあったものを基本としています。その他については「帝国データバンク 産業分類表」を参考としています。

## ◎ 報告内容

- ① 取組全体概要
  - ー普及促進活動
  - ーマッチング支援
  - ー分科会
- ② 会員数推移
- ③ **実績まとめ**

# 実績まとめ

- ▶ プラットフォームの活性化には、まずは課題登録されている必要があるという仮説のもと、「**地域課題の登録の支援**」「**会員の不安・疑問の解消**」「**気軽に利用できる環境**」「**期待感の醸成**」を目指し、各種施策を実施してきた。
- ▶ この目標を表すものとして、「**1号会員の約10%（約122自治体）の課題登録**」をKPIとした。

## ■ 2025年度の実績

(2026年3月19日時点)

KPI	実績 2025年度	参考 2024年度																	
<b>&lt;努力目標&gt;</b> <b>1号会員の約10%（約122自治体）の課題登録</b> <small>※官民MEETでの意見交換数は含まない</small>	課題登録 <b>81自治体</b> <small>(登録件数：243件)</small>	課題登録 <b>34自治体</b> <small>(登録件数：133件)</small>																	
<table border="1"> <tr> <td>課題に対する提案</td> <td>あり</td> <td>165件</td> <td>登録課題のうち 約<b>67.9%</b></td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>課題に対する実提案数</td> <td></td> <td>470件</td> <td>課題1つあたり <b>2.85</b>件の提案</td> <td>147件</td> </tr> <tr> <td>意見交換数</td> <td></td> <td>68件</td> <td>実提案数に対して 約<b>14.5%</b></td> <td>19件</td> </tr> </table>	課題に対する提案	あり	165件	登録課題のうち 約 <b>67.9%</b>	62件	課題に対する実提案数		470件	課題1つあたり <b>2.85</b> 件の提案	147件	意見交換数		68件	実提案数に対して 約 <b>14.5%</b>	19件				
課題に対する提案	あり	165件	登録課題のうち 約 <b>67.9%</b>	62件															
課題に対する実提案数		470件	課題1つあたり <b>2.85</b> 件の提案	147件															
意見交換数		68件	実提案数に対して 約 <b>14.5%</b>	19件															
<b>(参考) 連携事例の掲載数</b> <small>※プラットフォーム発ではない事例含む</small>	<b>20件</b>	4件																	

**前年と比較し、いずれも数値が上昇**

# 2026年度 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム 活動方針（案）

2026年5月20日  
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム事務局

## ◎ 報告内容

### ① 取組方針（案）概要

－普及促進活動

－マッチング支援

－分科会

### ② 活動スケジュール（予定）

## ◎ 報告内容

### ① 取組方針（案）概要

－普及促進活動

－マッチング支援

－分科会

### ② 活動スケジュール（予定）

# 2026年度取組方針(案)：全体像

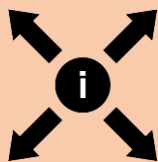
## -政策ビジョン-

地域課題の解決に向けた全国レベルでの官民連携の拡大によって、地域経済・社会・環境の自律的好循環を形成し、持続可能なまちづくりを実現する

## -2026年度取組方針-

積極的なマッチング支援を通じたプラットフォームの活性化および取組事例の横展開等、普及展開活動を通じた地方創生SDGsのさらなる機運醸成

### 普及・展開



- ・ 会員活動の活性化
- ・ 取組事例の普及・展開

### マッチング支援



- ・ 官民MEET
- ・ セミナー
- ・ 伴走支援

### 分科会



- ・ 活動支援

<2026年度 KPI>

プラットフォームの活性化を図る指標

➔ 登録課題数に対するプラットフォーム上での意見交換成立の割合

20%

## ◎ 報告内容

### ① 取組方針（案）概要

－普及促進活動

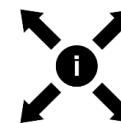
－マッチング支援

－分科会

### ② 活動スケジュール（予定）

## 普及・展開

- 本プラットフォームの魅力を向上させ、会員が活用したくなるような施策を実施
- “使いやすさ”“気軽さ”を引き続きアピール
- 休眠会員を含め、会員活動を活性化させる施策を検討
- 地方創生SDGsに取り組む自治体、企業等の多様なステークホルダーの取組事例の横展開



### #会員活動の活性化

- ✓ 会員セグメント（積極的/情報収集/休眠）によった施策・情報発信のアプローチ
- ✓ 課題登録・提案を促進する**キャンペーンの実施**検討
- ✓ **プラットフォーム発の官民連携事例**の収集及び横展開
- ✓ **他省庁や都道府県、他のプラットフォーム**との協力・連携
- ✓ 改善や強化した機能の利用促進
- ✓ 会員に対して異動時などの**“引継ぎ”**の呼びかけ

### #取組事例の普及・展開

- ✓ プラットフォームの周知・広報を目的としたイベント参加、出展の検討
- ✓ **地方創生SDGs取組事例の横展開**
- ✓ **企業協力等による情報発信機会の創出**

GOOD LIFEフェア2026  
(主催：朝日新聞社)と連携

開催予定！  
9月25日～27日  
**地方創生SDGsフェス**  
@東京ビッグサイト

## マッチング支援

- 官民の関わりを実際に体感し、より良い出会いの場となる対面型マッチングイベントの開催
- 官民連携を促進するためのノウハウを学べるセミナーの開催
- 会員の官民連携に関する相談やマッチング支援を実施する伴走支援窓口の活性化



### #官民MEET

2回開催予定

- ✓ 令和7年度に好評だった自治体出展形式のマッチングイベントを軸
- ✓ イベント内で効果的にマッチングできる企画（ピッチ等）の検討
- ✓ 同様のイベントを都道府県単位で実施できるような仕組みの検討

自治体総合フェア2026  
(主催：日本経営協会)と連携

2026年度初回 開催予定！

7月8日～10日

**官民MEET東京**

@東京ビッグサイト

### #セミナー

2回開催予定

- ✓ プラットフォームの機能や官民連携について学びのある内容
- ✓ 開催形式 (セミナー形式/ワークショップ形式など) の検討

### #伴走支援

- ✓ 相談窓口として会員の相談をいつでも受け付け
- ✓ 会員に対してフェーズに応じた積極的な支援を実施 NEW!  
ex.提案のつかない課題へのサポート、提案のあった自治体の次の行動のサポート など
- ✓ 重点的にサポートする期間の設定などの検討
- ✓ 相談会の実施などの検討

## 分科会

- 会員からの自主的なテーマ提案にもとづき設置・運営するコミュニティ
- 異分野連携による新たな価値や、地方創生に資するプロジェクトの創出を促す
- 共通課題に対する多団体連携を促す



### #活動支援

- ✓ 今年度も引き続き分科会の設置を受付
- ✓ 積極的に分科会を設置し、活動していただけるよう周知・広報
- ✓ 分科会の設置はメルマガで会員向けに周知
- ✓ 分科会設置者等のセミナー登壇などの検討

設置受付  
9月30日まで

## ◎ 報告内容

### ① 取組方針（案）概要

－普及促進活動

－マッチング支援

－分科会

### ② 活動スケジュール（予定）

# 2026年度取組方針(案)：スケジュール

